

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動 4 学年

単元名	「大きな声でまねっこしよう！」	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から声を出すことができる。</li> <li>・発声できる音を増やすことができる。</li> <li>・言葉の模倣ができる。</li> </ul>	
児童の実態	A 児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舌を使った口の動きができるようになる。</li> <li>・発声できる音を増やす。</li> <li>・自信をもって大きな声で発声できるようになる。</li> <li>・絵カードに描かれたものを言葉で答えられるようになる。</li> </ul>

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・はじめの挨拶と返事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・号令に合わせて姿勢を正すことができる。</li> <li>・自分の名前が呼ばれたときに「はい。」と発声し、挙手して返事をするることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきりゆっくりと「きをつけ。」の号令や呼名を行う。</li> <li>・大きな声で発声できたり、自分から発声できたりした際には、称賛する。</li> </ul>
・舌の体操 ・あいうべ体操	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が目の前で手本を見せると声を出したり舌を動かしたりすることができる。</li> <li>・苦手な活動に対しては、耳をふさいで拒絶することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前に座り、口の開き方や舌の使い方がわかるようにする。</li> <li>・自分の声が聞こえるようにマイクを使って発声するようにする。</li> <li>・拒絶する姿が見られたら、言葉のかけ方や活動の内容を変更し、気持ちを切り替えられるようにする。</li> </ul>
・まねっこをしよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信のある音声は、自分から声を出すことができる。</li> <li>・苦手な発声の音だと耳をふさいで発声を拒絶することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先に教師が手本を見せ、音声や口の形を模倣できるようにする。</li> <li>・マイクを使って自分の発声する声が聞こえるようにする。</li> <li>・一人だけの発声ではなく他の児童も一緒に発声することで緊張感を少なくする。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ「すっぱーん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を目で追ったり、注視したりすることができる。</li> <li>・活動の内容に見通しがもてると、教師の行う発声や身振りを自分から模倣することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の中に出てくる「すっぱーん。」という発声の場面では、毎回同じ身振り行い、期待感を高められるようにする。</li> <li>・ページめくりや出てくる野菜の発声を促し、意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おわりの挨拶</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・号令に合わせて、姿勢を正すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきりゆっくりと「きをつけ。」の号令を行う。</li> </ul>

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
	<ol style="list-style-type: none"> <li>はじめの挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶と呼名を行う。</li> </ul> </li> <li>舌の体操とあいうべ体操 <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌の体操は「むすんでひらいて」の曲に合わせて映像を見ながら取り組む。</li> <li>・あいうべ体操は絵カードを用いて、見ながら一緒に活動を行う。</li> <li>・手本を見ながら一緒に取り組む。</li> </ul> </li> <li>まねっこをしよう！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の鳴き声や動作を音で表したペープサートを用意する。</li> <li>・順番にペープサートを手に取るように促し、選んだ音声と動きを模倣する。</li> <li>・自分の発した声が聞こえやすいようにマイクを使用する。</li> </ul> </li> <li>読み聞かせ「すっぱーん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し出てくる「すっぱーん。」という音や野菜の名前を発声する。</li> <li>・ページをめくる動作を児童に促し、意欲的に活動に参加できるようにする。</li> </ul> </li> <li>おわりの挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> </li> </ol>	

○児童の授業に取り組む様子

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の中で「あいうべ体操」や「舌の体操」を行うと、教師を見ていなかったり、手本の映像に入ってしまった様子が見られた。その際は、教師が個別に言葉かけを行って目の前で手本を見せると、一緒に声を出して、口形の模倣をすることができた。</li> <li>・「まねっこしよう！」では、口元にマイクを向けると発声することができ、繰り返し練習したことで、徐々に言葉も明瞭になってきているように感じる。</li> <li>・読み聞かせでは、教師が発声する「すっぱーん。」のタイミングで一緒にページをめくることができ、発声を促すと「う、っぱーん。」と声を出すことができていた。</li> </ul>
--

<p>グループ全体の反省・課題 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業全体を通して、発声する場面を飛躍的に増やすことができたが、一方で促しや働きかけがないと発声することが少ないので、今後も活動や練習を繰り返し行い、見通しがもてるように支援して主体的に発声できる場面を増やせるようにする必要がある。</li> <li>・活動時、対象児が耳を塞ぎうつむく様子が見られた。周りの環境の影響や座席の問題など改善可能な要因もあるので、本人がより集中して取り組めるよう、授業開始前に環境を整えることが必要だった。</li> </ul>
--